



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 アキレス株式会社

コード番号 5142 URL <http://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長兼経営企画本部長 (氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5338-8112

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	42,244	0.5	547	27.8	926	60.4	1,767	85.5
27年3月期第2四半期	42,052	2.9	428	△35.6	577	△44.2	952	51.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,103百万円 (117.9%) 27年3月期第2四半期 965百万円 (△14.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	9.55	—
27年3月期第2四半期	5.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第2四半期	77,154	44,913	58.2	242.71
27年3月期	77,976	43,552	55.9	235.33

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 44,913百万円 27年3月期 43,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円銭
通期	90,000	1.1	1,200	31.4	2,000	35.1	2,200	70.8
								11.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	190,627,147 株	27年3月期	190,627,147 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	5,572,274 株	27年3月期	5,559,264 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	185,063,522 株	27年3月期2Q	185,093,758 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、国内は雇用・所得環境の改善と原油価格の安定化は見られましたが個人消費の回復は遅れ、鉱工業生産も弱含みとなりました。海外ではTPP交渉が大詰めを迎えるなか、米国経済は引き続き好調を維持しましたが、中国をはじめとする新興国経済に一段の景気減速への懸念が強まりました。また、米国金融政策に係わる市場予測の影響により為替相場は円安が定着したことで、輸入製品価格が高止まりするなど厳しい事業環境が継続しました。

このような事業環境の下、当社グループは企業価値の増大を目指して、ブランド力・魅力ある商品創りと製品の拡販に注力してまいりました。具体的には省エネルギー関連製品、環境対応製品、スポーツ健康関連製品など成長分野と、インフラ整備、防災関連分野およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 42,244 百万円(前年同四半期比 0.5%増)、営業利益 547 百万円(前年同四半期比 27.8%増)、経常利益 926 百万円(前年同四半期比 60.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,767 百万円(前年同四半期比 85.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<シューズ事業>

ジュニアスポーツシューズのトップブランド「瞬足」と高機能スーパークッション「ソルボセイン」を搭載した「アキレス・ソルボ」は、コストアップを吸収するための販売価格改定が影響し、いずれも前年売上を下回りました。一方、20 km歩けるパンプス「ALL DAY Walk」は引き続き好評でしたが、シューズ事業全体では前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 8,555 百万円(前年同四半期比 4.9%減)、セグメント利益(営業利益)は△478 百万円(前年同四半期は 4 百万円)となりました。

<プラスチック事業>

車輦内装用資材は、堅調な北米マーケット向けの伸長がありましたが、国内自工メーカーの減産、中国・東南アジアマーケットの減速により、ほぼ前年並みの売上となりました。

フィルムの国内事業は、海外向けの窓用と工業資材用が好調に推移したものの、国内向けの産業用と一般用が低迷し、前年売上を下回りました。北米事業は、医療用等が好調に推移しましたが、文具用は苦戦しました。農業分野は、農業用ハウスの需要低迷により、前年売上を大きく下回りました。

建築資材は、消費増税駆け込み需要の反動による建築関連市場低迷の影響が続き、床材・壁材ともに前年売上を下回りました。

引布商品は、内需向けポット、内需テントが好調で、前年売上を上回りました。

プラスチック事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 18,969 百万円(前年同四半期比 0.1%減)、セグメント利益(営業利益)は 1,077 百万円(前年同四半期比 30.0%増)となりました。

<産業資材事業>

ウレタンは、マットレス「フレアベル」が伸長、またリビング・車輛用ともに好調に推移し、前年売上を大きく上回りました。

断熱資材は、ボード製品、システム製品ともに建材用の回復が遅れ、またスチレン製品は加工品、パネル製品は畜産と簡易ハウス向けが低迷し、前年売上を下回りました。

工業資材は、静電気対策品が海外主要顧客の在庫調整により苦戦しましたが、RIM成形品が海外市場向けで伸長し、前年売上を上回りました。

産業資材事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 14,718 百万円（前年同四半期比 4.7%増）、セグメント利益(営業利益)は 959 百万円（前年同四半期比 46.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は 77,154 百万円で前連結会計年度末に比較して 822 百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は 48,695 百万円となり前連結会計年度末に比較して 574 百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が 2,556 百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が 2,988 百万円減少したことによります。固定資産は 28,458 百万円となり前連結会計年度末に比較して 247 百万円減少しました。これは主に、投資その他の資産が 768 百万円増加しましたが、有形固定資産が 945 百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は 26,202 百万円となり前連結会計年度末に比較して 1,986 百万円減少しました。これは主に、その他流動負債が 1,352 百万円、支払手形及び買掛金が 655 百万円減少したことによります。固定負債は 6,038 百万円となり前連結会計年度末に比較して 197 百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債が 170 百万円減少したことによります。

純資産の部は 44,913 百万円となり、前連結会計年度末に比較して 1,361 百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が 1,027 百万円、その他有価証券評価差額金が 288 百万円増加したことによります。以上の結果、自己資本比率は 58.2%となり前連結会計年度末に比べ 2.3%好転しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は 9,682 百万円(前連結会計年度末比 2,556 百万円増加)となりました。

営業活動の結果、増加した資金は 2,974 百万円(前年同四半期比 1,178 百万円収入増)となりました。これは主に、売上債権の減少 3,040 百万円、税金等調整前四半期純利益 2,543 百万円、減価償却費 1,264 百万円による収入と、固定資産除売却損益 1,746 百万円、仕入債務の減少 688 百万円、たな卸資産の増加 615 百万円の支出によるものであります。

投資活動の結果、増加した資金は 332 百万円(前年同四半期比 1,647 百万円収入増)となりました。これは主に、固定資産の売却による収入 2,165 百万円と、固定資産の取得による支出 1,816 百万円によるものであります。

財務活動の結果、減少した資金は 765 百万円(前年同四半期比 230 百万円支出増)となりました。これは主に、配当金の支払額 740 百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月12日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成27年11月6日）公表の「平成28年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,128	9,685
受取手形及び売掛金	27,542	24,553
商品及び製品	8,792	9,418
仕掛品	1,475	1,560
原材料及び貯蔵品	2,053	1,994
繰延税金資産	1,308	761
その他	1,016	767
貸倒引当金	△47	△45
流動資産合計	49,270	48,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,251	7,737
機械装置及び運搬具（純額）	4,824	4,765
土地	5,267	4,927
建設仮勘定	228	156
その他（純額）	495	534
有形固定資産合計	19,067	18,122
無形固定資産	672	601
投資その他の資産		
投資有価証券	4,093	4,450
退職給付に係る資産	2,073	2,553
繰延税金資産	2,101	2,020
その他	755	763
貸倒引当金	△56	△53
投資その他の資産合計	8,966	9,735
固定資産合計	28,706	28,458
資産合計	77,976	77,154

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,612	13,957
短期借入金	2,339	2,316
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
未払金	3,521	3,579
未払法人税等	224	210
その他	4,490	3,138
流動負債合計	28,188	26,202
固定負債		
長期末払金	9	9
繰延税金負債	513	483
退職給付に係る負債	5,352	5,182
資産除去債務	351	354
P C B廃棄物処理引当金	8	8
固定負債合計	6,236	6,038
負債合計	34,424	32,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	16,251	17,278
自己株式	△728	△730
株主資本合計	40,872	41,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,050	1,338
繰延ヘッジ損益	92	13
為替換算調整勘定	1,102	1,214
退職給付に係る調整累計額	434	450
その他の包括利益累計額合計	2,679	3,015
純資産合計	43,552	44,913
負債純資産合計	77,976	77,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	42,052	42,244
売上原価	34,281	33,929
売上総利益	7,771	8,314
販売費及び一般管理費	7,342	7,767
営業利益	428	547
営業外収益		
受取利息及び配当金	32	29
その他	224	413
営業外収益合計	256	442
営業外費用		
支払利息	33	30
その他	73	33
営業外費用合計	107	64
経常利益	577	926
特別利益		
固定資産売却益	44	1,873
投資有価証券売却益	—	0
保険差益	125	0
特別利益合計	169	1,873
特別損失		
固定資産売却損	—	97
減損損失	224	129
固定資産除却損	66	29
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	290	256
税金等調整前四半期純利益	456	2,543
法人税、住民税及び事業税	290	281
法人税等調整額	△786	494
法人税等合計	△495	776
四半期純利益	952	1,767
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	952	1,767

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	952	1,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118	288
繰延ヘッジ損益	112	△78
為替換算調整勘定	△243	89
退職給付に係る調整額	77	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△52	22
その他の包括利益合計	12	336
四半期包括利益	965	2,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	965	2,103
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	456	2,543
減価償却費	1,214	1,264
減損損失	224	129
のれん償却額	16	16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△5
受取利息及び受取配当金	△32	△29
支払利息	33	30
為替差損益(△は益)	50	△15
持分法による投資損益(△は益)	△64	△67
固定資産除売却損益(△は益)	22	△1,746
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
保険差益	△125	△0
売上債権の増減額(△は増加)	2,596	3,040
たな卸資産の増減額(△は増加)	△942	△615
仕入債務の増減額(△は減少)	△693	△688
未払消費税等の増減額(△は減少)	61	△307
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△296	△170
その他の資産の増減額(△は増加)	△627	△406
その他の負債の増減額(△は減少)	15	82
小計	1,894	3,054
利息及び配当金の受取額	175	204
利息の支払額	△31	△29
保険金の受取額	126	0
法人税等の支払額	△368	△255
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,796	2,974
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	0	0
固定資産の取得による支出	△1,325	△1,816
固定資産の売却による収入	4	2,165
投資有価証券の取得による支出	△18	△17
関係会社株式の売却による収入	5	—
貸付金の回収による収入	20	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,315	332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	22	△23
自己株式の取得による支出	△1	△2
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△555	△740
財務活動によるキャッシュ・フロー	△534	△765
現金及び現金同等物に係る換算差額	△72	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△125	2,556
現金及び現金同等物の期首残高	8,015	7,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,889	9,682

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	8,995	18,994	14,063	42,052	—	42,052
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	84	255	339	△339	—
計	8,995	19,079	14,318	42,392	△339	42,052
セグメント利益	4	828	657	1,490	△1,061	428

(注)1. セグメント利益の調整額△1,061百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「産業資材事業」セグメントにおいて、タイ国子会社の固定資産について、市場環境の著しい悪化により受注が減少し早期の回復が見込まれないため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては224百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	8,555	18,969	14,718	42,244	—	42,244
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	82	259	342	△342	—
計	8,555	19,052	14,978	42,586	△342	42,244
セグメント利益	△478	1,077	959	1,557	△1,010	547

(注)1. セグメント利益の調整額△1,010百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、埼玉県ふじみ野市の資産について、遊休状態にあり、将来の用途が定まっていないため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては129百万円であります。